

名前【 くらん 】

①新型コロナウイルス感染症の正式名を空欄にローマ字を入れて完成させましょう

--	--	--	--	--

—19

②新型コロナウイルスの感染経路としてあげている二つを書きましょう

		感	染
--	--	---	---

		感	染
--	--	---	---

③新型コロナウイルス感染症の予防として岩田教授が言っているのは、次の三つの説明のうちどれでしょう

- ㊶ マスクをしていればほぼうつらない
- ㊷ マスクをしてもほとんど効果がない
- ㊸ マスクをしないほうがよい

--

④接触感染をさけるために日常生活で何が大事だと言われていますか

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

⑤「怖くて怖くない新型コロナ」と言っているのはなぜですか。20字以内で説明しましょう

3月23日の新聞にのつた記事

本稿執筆時点(3月3日)で、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界中で猛威を振るっています。

この感染症は怖くない。しかし、怖い。だから、怖い。そういう不思議な特徴をもった感染症です。まず、感染経路ですが、飛沫感染と接触感染がほとんどです。要するに、くしゃみや咳、それに手で触って感染するのです。

感染症の予防の基本は「感染経路の把握と、そのブロック」です。多くの方が「そうか、くしゃみや咳で感染するのだな」とマスクを着用します。

神戸大学コラム

安心の素

せきや鼻水で出たウイルスが机や手すりに付く



怖くて怖くない新型コロナ



都市安全研究センター教授 岩田健太郎

岩田健太郎

しかし、これが間違っているのです。日常生活でマスクの着用はほとんど効果がありません。ウイルスの入った飛沫は長く空中に留まれないのと、留まった飛沫は鼻やあごの隙間から容易に侵入してくるからです。

では、マスクは無意味かというところでもありません。咳やくしゃみをしている「感染者」がマスクをすれば、日常生活で大事なものは飛び散ったあとテーブルや電話などに落ちたウイルスは出ず、しんどくないため、感染者は容易に街の中を歩き回ってしまうからです。重症のインフルエンザのように布団に寝込んだりしないのです。

8割よくなってしまうということは、2割はそうではないということです。時に、特に高齢の方だと亡くなってしまうことがあります。感染が広がらず、患者数が10人、100人くらいになるときは、それは怖くない。しかし、これが1万人、10万人となると相当被害がひどくなります。怖いです。現段階ではこれといった治療法もありません。ワクチンも実用化していません。

「触らないこと」、あるいは触った後、すぐに手の上のウイルスをやっつけることです。手指消毒が大仕事、と強調されるのはそのためです。

このウイルス感染症は風邪とほとんど同じ症状で、8割の方は自然に治ってしまします。若ければ若いほど、治りやすい。「怖くない理由」です。

ところが、怖くない理由がそのまま怖い理由になってしまう。大した症状は出ず、しんどくないため、感染者は容易に街の中を歩き回ってしまうからです。重症のインフルエンザのように布団に寝込んだりしないのです。

怖くて怖くないCOVID-19、ご理解いただけましたでしょうか。